

# 新成人 295 人、人生の新たな門出に立つ 松浦市成人式



平成 28 年松浦市成人式が 1 月 4 日、文化会館で開催されました。

今年の内市の新成人は 295 人。式典は梶村研治さん（鷹島町）と川上湖代美さん（御厨町）の司会で進められました。

友広市長は、「皆さんは、選挙権をはじめさまざまな権利を得ると同時に、社会の一員として地域社会やわが国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという大きな責任が生じてまいります。このことを自覚し、自らの判断と責任により行動することが求められることとなります。ご家族、友人、職場、地域の方々など多くの人との結びつきを大事にされ、自らの可能性を信じ、夢に向かって挑戦し続け、人間的にさらに大きく成長されることを期待いたします」と式辞を述べました。その後、代表者が二十歳の抱負を述べ、最後に荒木滉矢さん（今福町）が交通安全宣誓を行いました。



## とみた こども 富田琴美さん（調川町）



松浦で生まれ松浦で育ち、早くも二十年が経ちました。この日を迎えることができたのも、育ててくれた家族、ご指導くださった先生方、地域の方々、そして共に

歩んできた仲間たちのおかげです。

多くの方々から頂いた激励の教訓やこの故郷の存在は、これからも私の原動力や支えになっていきます。

現在、私は客室乗務員を目指して大学で国際援助やコミュニケーション、マーケティングなどあらゆる分野を深く研究しています。夢に向かってさまざまなことに挑戦しており、将来のために勉強ができることは大変幸せなことだと思います。

私たちの周りでは、世界で起きたテロや国内での憲法第九条の憲法改正など、大変話題になりました。国の文化や言葉は違って同じ人間です。個人個人が思いやりを持って社会に貢献すること、そしてこれからの私たちの行動が明るい未来を創り上げると信じています。



私たちがこの日を迎えることができたのは両親をはじめ、多くの方に支えられ大切に育てられてきたおかげです。感謝の気持ちを忘れず、成人としての自覚と責任、松浦市で育った誇りを持ち、これから生きていきたいと思います。

私は横浜国立大学理工学部で宇宙や空、そして海で幅広く活躍できる構造物を創造するエンジニアを目指して勉学に励んでいます。将来は、航空機開発に携われるようなエンジニアになり、さらに安全で速い飛行機を造りたいと思っています。私の夢は難しいことですが、その夢に少しでも近づくため日々頑張りたいと思います。

私たちは宇宙のように未知なる可能性を秘めており、夢を夢で終わらせるわけにはいかないはずで。今日から社会の一員として責任感を持ち新たな一歩を踏み出したいと思っています。

新成人の皆さま一人一人の活躍を祈念します。

## 二十歳の抱負

## まつなが だいき 松永大輝さん（志佐町）

